

35

「編集後記」  
 さあもなく2011年、学園創立40周年を迎える記念イヤーがスタートします。  
 教員展覧会やシンポジウムなど、記念イベントに関する情報は整い次第広報  
 してまいりますのでしばらくお待ち下さい。環境整備工事にしましては、大学正門  
 及び外周の整備も完了しファサードは緑あふれる姿に様変わりしました。より  
 良い学びの環境と、より地域の方々に愛される大学を目指すため、これからも  
 京都嵯峨芸術大学は邁進してまいります！（広報室）

|                     |                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| CONTRIBUTION   特集企画 | ホームカミングディ特集                                                                                                                                                                                                                                          |
| NEWS                | <p>理事会報告/学舎2棟の新名称について/学長選挙報告 大字報告/夏休休暇中の海外美術研修報告/2010年度9月卒業・修了報告/平成22年 観月の夕べ 開催報告/京都嵯峨野文化サロン開催報告/嵐祭開催報告/外尾悦郎宮教員教授 公開講座「ガウディ 芸術と自然」開催レポート</p> <p>告知:第39回卒業・修了制作発表告知 学園創立40周年記念事業報告:耐震補強・環境整備工事竣工報告</p>                                                |
| TOPICS              | <p>教員・在学生の活躍:イベント学会2010年研究大会/Arts Bar @ Rissei 京都学生芸術作品展2010/『ねこぼんち』新人王ねこ漫グランプリ</p> <p>地域連携:国民文化祭ワークショップ/「京都・嵐山花灯路2010」開催報告 附属機関:博物館・ギャラリー企画報告/</p> <p>附属博物館「絵は詩のごとく、詩は絵のごとく マリアヌ・クルーズの世界」オープニング・セレモニー 卒業生の活躍:中本 真生さん 大学行事予定:Jan.2011 — Apr.2011</p> |
| INFORMATION         | <p>本学園関係による展覧会情報 附属博物館/附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」/</p> <p>連続公開講座「京都の美意識」スケジュール/あらし山びこスケジュール 出版情報/メディアでの紹介 編集後記</p>                                                                                                                                           |

出版情報／メディアでの紹介

■真板昭夫教授が共著で執筆した書籍が刊行

『宝探しから持続可能な地域づくりへ  
ー日本型エコソールイズムとはなにかー』

著 者：真板昭夫、比田井和子、高梨洋一郎  
出版社：学芸出版社  
定 価：2,310円(税込) 発行日：2010年10月15日  
ISBN：978-4-7615-2490-6

特集企画  
ホームカミングディ  
特集

年に一度、本学の卒業生たちが一堂に集まる恒例行事「ホームカミングディ」。今年は11月3日（水・祝）に開催され、100名を超える卒業生たちが母校に帰ってきてくれました。そこで今回は、本学短期大学部の非常勤講師でもある持山賢次同窓会会長と、短期大学部デザイン分野の教員で学生部長の坂田岳彦准教授に寄稿いただき、当日参加された方々に感想をうかがいました。

開催概要

「嵯峨芸・嵯峨美ホームカミングディ」  
開催日：2010年11月3日（水・祝）  
開催時間：11:00～14:30  
会場：京都嵯峨芸術大学 本部キャンパス 管理棟地階 学生食堂  
主催：京都嵯峨芸術大学  
共催：京都嵯峨芸術大学 同窓会

当日スケジュール

- 11:00 開会  
三好郁朗学長 挨拶  
40周年記念事業室長 増田洋教授 挨拶
- 11:10 退職教員・現職教員・卒業生・現役学生 対談  
「イラストレーターの仕事トークセッション」  
テーマ：いまばな・むかばな（今話・昔話）  
退職教員：川口凱正名誉教授、伊勢信子名誉教授  
現職教員：藤本秀樹教授、神谷三郎講師、大畑真也講師
- 12:15 休憩
- 12:30 懇親パーティ 持山賢次同窓会会長 挨拶
- 13:30 ビンゴゲーム
- 14:30 閉会の言葉 箱崎睦昌副学長

参加人数：卒業生107名（同伴のお子様等19名）  
在学生 15名  
教職員 16名  
合計：157名

持山 賢次  
もちやま けんじ

1976年嵯峨美術短期大学 第4期ビジュアルデザイン科卒業後、中沼アートスクリーン株式会社に入社。故・谷口啓司先生からの誘いを受け、1995年より本学短期大学部の非常勤講師（当時VCD1科）として勤務。同窓会へは1999年に幹事として参加、現在同窓会会長。



今年も大勢の卒業生が帰ってきてくれました。毎年嵐芸祭（学園祭）中に開催しております「ホームカミングディ」。この言葉も馴染んできたのでしょうか、まさしく「おかえりなさい」の一日が始まりました。

今年は「イラストレーターの仕事トークセッション」と題し、退職された伊勢先生に川口先生、藤本先生をはじめ現職教員、そしてイラストレーターとして活躍中の卒業生を迎え、スライドショーを中心にセッションの開始となりました。まずは、川口先生が創立当時の様子を解説しながらのスタート。創立時点から関わっておられる川口先生秘蔵の写真をお持ちいただいたそうで、色々とエピソードを交えながらのお話に皆さん感心しきりの表情。またそこには若きころの先生方の写真もたくさんあり、今は故人となられた私の恩師であった先生方が映った時には、いまでもお元気でおられたらこの席で川口先生とはどんな掛け合いになっただろうかと、思わず胸が熱くなる気持ちを抑えられませんでした。

そして伊勢先生、藤本先生、活躍中の卒業生の作品へと進み、それぞれの先生方がお持ちいただいた作品の解説や当時の苦労話、また卒業生からは作品への思い入れもあり作家本人の話が聞け、参加していた在学生にとっても、とても参考になったのではないかと思います。

来年は母校も40周年の節目を迎えます。同窓会としてもこのホームカミングディを40周年記念事業の一つだけでなく、さらに継続、発展させ卒業生相互だけでなく恩師、母校との交流へと繋がるべく活動してまいります。続く後輩たちのためにも卒業生の皆様、是非よろしくご協力お願いします。来年の「ホームカミングディ」、また皆様のおかえりをお待ちしております。



三好郁朗学長による挨拶



スライドショーに見入る参加者の方々

坂田 岳彦  
さかた たけひこ

京都市立芸術大学 大学院 美術研究科 デザイン専攻修了後、2005年着任。現在は、京都嵯峨芸術大学短期大学部 デザイン分野准教授、本学学生部長。担当科目は「デザイン基礎」「デザイン演習」「デザイン実習」「デザイン研究」「ビジュアルデザイン論」「ユニバーサルデザイン」など。視覚媒体のユニバーサル性を研究。



11月3日の嵐芸祭初日、心地よい秋風が吹くなか、ホームカミングディが開催されました。今年は大学主催、同窓会共催というかたちで行いましたが、多数の皆さまのご支援を賜り、卒業生とご家族、教職員、パーティ目当ての在学生もあわせて、総勢150名を超える盛大な宴となりました。ありがとうございました。

第一部は、退職された川口凱正先生と伊勢信子先生、イラストレーターとしてご活躍されている卒業生にお越しいただき、現職教員を交えてトークセッションを行いました。昔の校舎の写真や懐かしいキャンパス風景を上映しながらのトークセッションでしたが、会場から「ああ、そうそう。こんな教室だった」「あれ、〇〇くんだよ」などの声上がるたび「歴史の重み」を感じました。来年で開学40周年を迎えますが、卒業生の一人ひとりの人生の大切な時期がここにあった、という「歴史の重み」を改めて感じた次第です。

第二部の懇親パーティでは、「おまえ、老けたなあ」は禁句のなか、あちこちで旧交をあたためる姿が見られました。特に、世代を超えた交流が見られたのはホームカミングディならではの光景であったと思います。

ホームカミングディのテーマは「おかえりなさい！」。母校を愛してくださる卒業生からお叱りを受けることのなきよう、「歴史の重み」を絶えず感じながら、後輩たちの教育に切磋しようと思心刻んだ一日でした。卒業生の皆さま、来年も「おかえりなさい！」。



ビンゴゲームの様子



懇親パーティの様子

参加者の感想

1978年度卒 日本画 高田 良次

本年は大学主催により同窓会としましては、受付と懇親会の進行という形で参加致しました。前半はデザイン分野単独の講演会ではありましたが、多くの先生方による和やかな講演の中で感じた事は、折々につけ我々は懐かしい学び舎に帰るのみならず、学んだ先生方の「光の灯台」に再び集うのだという実感でした。この有意義な機会が、「少し先の未来から刺す芸術という天性の明るみ」を共有する場として発展して行く事を願って止みません。

1989年度卒 洋画 宮崎 純子

秋に広報誌がポストに届くと、もう1年たったのかと時を実感します。ホームカミングディは毎年のお楽しみ。学園祭に足を運ぶと、卒業した20年前の頃よりも、環境のいたるところがバージョンアップしていて、今の学生さん達が正直、羨ましく思われます。来年は創立40周年！なんと私と同じ年と知り不思議です。大樹となるべく嵯峨野に根をはり枝葉を広げ、いつまでも嵯峨芸みんなの、心のよりどころ（ホーム）であるよう願います。

2007年度卒 造形学科日本画 大村 真希

今年、大学主催ということもあって、たくさんの先生方が集まってくださり、例年とは少し違った雰囲気の間幕開けでした。しかし、講演会では懐かしく聞き入り、懇親会では思い出話に花を咲かせ、ビンゴでは精一杯盛り上がり、時間を経るごとに「嵯峨美、嵯峨芸生」の顔に戻っていました。後のギャラリートークでも在学生と大いに語り、お互いにとって学びの時間となりました。「おかえりなさい」が本当に似合う一日でした。

京都嵯峨芸術大学 短期大学部 美術学科 デザイン分野  
イラストレーション・アニメーション講師 神谷 三郎

本学のイラストレーションの教員として着任して、まだ5年しか経っていません。当日は、嵯峨芸について何も知らない者として、へえ、ふうん、なるほど、ばかりを言いながら興味深く昔話を聞かせていただきました。パソコンや携帯電話が身近になかった時代、自分の手を頼りに作品を作っていた様子を見聞きして、創作の基本について見つめ直すことができました。この感覚を、毎日の授業の中でうまく活用しなければ！と思っています。



## NEWS

KYOTO SAGA UNIVERSITY OF ARTS PUBLIC RELATIONS

KYOTO SAGA  
UNIVERSITY OF ARTS

## 理事会報告

## 学舎2棟の新名称について

耐震補強工事を終えたことにより、学舎2棟について現在の実習A棟、実習B棟に研心館、遊意館という新たな名称が付けられました。(総務課)

空海(声字実相義より)

いはゆる声字実相とは、すなわちこれ法仏平等の三蜜、衆生本有の曼荼なり。故に大日如来、この声字実相の義を説いて、かの衆生長眼の耳を驚かしたまふ。もしは顕、もしは密、或いは内、或いは外、所有の教法、誰かこの門戸に由らざらん。いま大師の提撕によって、この義を抽出す。のちの学者ももっとも研心遊意せよまくの。 (後学の者たちは、これについてとくに心をみがき、学ぶべきである。)

## 学長選挙報告

来る3月末日をもって任期満了になる学長の後任を決める学長選挙をさる11月17日(水)に実施し、現職の三好郁朗が再任されました。任期は2011年4月1日(金)から2年間です。(総務課)

## 大学報告

## 夏期休暇中の海外美術研修報告

夏期休暇期間を利用して、フランス・パリでの美術研修が企画・実施されました。本学の佐藤文郎准教授と宇野和幸教授が引率を担当し、9月中旬からの約10日間の研修に、38名の学生が参加しました。まず事前講義では、西洋美術に関する問題意識や美術館制度に関する歴史的理解を深め、同時に学生が各自の創意にもとづいて調査を行うための計画を立案していきました。研修時には、ルーヴル美術館やオルセー美術館を含む多くの美術館を見学する一方で、パリの景観形成についての調査を行うために、自由時間にはオートウヰユ地区やマレ地区を見学するなどしました。(教務課)

## 2010年度9月卒業・修了報告

2010年9月15日(水)及び9月24日(金)の教授会において、芸術学部1名、短期大学部12名の卒業、および短期大学部専攻科1名の修了を認定し、9月29日(水)に卒業・修了式を挙行、学長から学位記が授与されました。(教務課)

## 平成22年 観月の夕べ 開催報告

9月22日(水)から24日(金)の3日間、本学の設置母体である旧嵯峨御所 大覚寺門跡にて毎年恒例のお月見行事「観月の夕べ」が開催されました。本行事は、9世紀初め嵯峨天皇が大覚寺・大沢池に舟を浮かべてお月見をされたことが始まりだとわれています。今年は天候にも恵まれ、大沢池に舟を浮かべてお茶席が設けられたほか、当日設置された様々な模擬店も賑わいをみせていました。また、本学のクラブ「箏曲の会」による琴の演奏会も行われ、老若男女、国籍を問わず、訪れた人たちは平安王朝さながらの優雅な雰囲気を楽しんでいました。(広報室)



## 京都嵯峨野文化サロン開催報告

「京都嵯峨野文化サロン」は、平成14年に旧嵯峨御所 大覚寺門跡と本学が連携して、嵯峨野の伝統や魅力を探り、現代人の美意識に合った新しい文化や芸術を嵯峨野から発信していくことを目指して開設したものです。

第9回目となる今年は、『『平家物語』―乱世を生きる公達の哀しみ』をテーマに、10月2日(土)、大覚寺にて開催しました。318名の参加者を迎え、盛況に終えることができました。

第1部は京都大学大学院教授の元木泰雄氏による講演、第2部は野田雄氏(作曲・サクソフォーン)、田中一雄氏(薩摩琵琶)、宮崎青蔵氏(尺八)による和洋楽器のコラボレーションで謡曲の「清経」の心を再構成していただきました。

元木氏の「公達の哀しみ―その諸相と虚実」と題した講演は大変分かりやすく、もっと聞きたかったとの声が多く寄せられました。また第2部の演奏は、ライトアップされた夜の大覚寺の境内に素晴らしい琵琶の音が響き幽玄な世界へ参加者を誘いました。

今後も地域にちなんだ企画を提案し、地域の文化や伝統を大切に継承していきたいと考えています。(文化事業課)

## 嵐芸祭開催報告

昨年度から少しずつ変化を見せた嵐芸祭、実行委員、そして嵯峨芸生の新たな挑戦に向かって行く気持ちは年々増え続けています。11月3日(水・祝)と4日(木)に開催された嵐芸祭2010ではテーマ



マを「おとぎ」とし、普段とは雰囲気ガリと変わった嵯峨芸を体感していただけたのではないかと思います。主な企画として音楽ゲストライブ「SAGA SONG IS GOOD」、講演会「夢みる力」、ライブペイント「ゆめいろせかい」、そして中庭ステージでの様々な企画が行われました。中でも「SAGA SONG IS GOOD」は、嵐芸祭実行委員会音楽ゲスト部が6名という少ないメンバーで作り上げた今年のメインイベントです。ゲストとしてYOUR SONG IS GOODを招聘し、嵐芸祭が盛り上がりました。

今年も「よかった」という声を学生、一般の方、そして先生方からも聞きすることができ、とても嬉しく思っております。嵐芸祭という場で自分を、そして嵯峨芸を、今年最大限の力で表現することによって、学生もいつとは違う「新たな自分」に出会うことができたのではないのでしょうか。(嵐芸祭実行委員会)

## 外尾悦郎客員教授

## 公開講座「ガウディ 芸術と自然」開催レポート

11月26日(金)に本学AVホールにて、スペイン・バルセロナのサグラダ・ファミリア聖堂の主任彫刻家を務めるなど、世界的な彫刻家として活躍されている外尾悦郎客員教授による公開講座が開催されました。2010年4月に本学の客員教授に就任されて以来2回目となる本講座では、「ガウディ 芸術と自然」をテーマに、ガウディが愛した地中海の自然を通して、美学、芸術学、彫刻という観点でガウディに最も近い専門家の立場から、これまであまり語られることのなかった本当のガウディを理解するためのヒントについて深く語られました。さらに今回は、カタルーニャ国際大学教授のコンセプション・ペイジ氏にも共同講演として解説していただくなど、盛りだくさんの内容となりました。後半には質疑応答の時間も設けられ、受講者の方々は熱心に聞き入っていました。(広報室)



## 第39回卒業・修了制作展告知

本学で磨いた感性と表現力を発表する、1年に一度の大学を挙げて行う「展覧会」を今年度も開催します。京都市美術館では「卒業・修了制作展」として、芸術学部4年生、大学院生、短期大学部2年生、専攻科生の作品を発表します。今年度は、いよいよ卒業を迎える芸術学部メディアデザイン学科の1期生の作品を、館内1階に展示いたします。

また、大学内では「進級制作展」として、学内を美術館と見立てて、芸術学部1・2・3年生および短期大学部1期生の作品を展示します。この進級制作展にあわせて、学生たちの自主企画による展覧会「one room」が今年も開催されます。

この「one room」では、構内のクラブボックスを使用し、学生が個展形式で展示を行い、またゲスト作家による講演会も予定しています。(教務課)



昨年の「第38回卒業・修了制作展」会場風景

展覧会名:『第39回卒業・修了制作展』  
会期:2011年2月2日(水)～2月6日(日)  
時間:9:00～17:00 ※京都市美術館の入場は～16:30  
会場:「卒業・修了制作展」=京都市美術館

・地下鉄東西線「東山」  
・市バス「京都会場美術館前」下車  
「進級制作展」=本学  
・阪急電鉄「松尾」 ・京福電鉄「車折神社」  
・市バス/京都バス「車折神社前」下車  
※詳細は事務局・教務課までお問い合わせください。  
TEL:075-864-7867 kyomu@kyoto-saga.ac.jp

展覧会名:『one room』  
会期:2011年2月2日(水)～2月9日(水)  
時間:9:00～17:00  
会場:京都嵯峨芸術大学構内 クラブボックス  
(講演会・講評)ゲスト:Chim↑Pom  
開催日:2011年2月8日(火)  
お問い合わせ:one room運営委員会 oneroom11@gmail.com  
http://oneroom11.web.fc2.com/

## TOPICS

KYOTO SAGA UNIVERSITY OF ARTS PUBLIC RELATIONS

## 教員・在学生の活躍

イベント学会2010年研究大会

イベントが果たす真の役割とは!?  
本学教員と在学生が研究発表

9月3日(金)・4日(土)の2日間、大阪市中央公会堂(大阪市北区中之島)と国立民族学博物館(吹田市千里万博公園)を会場に開催されたイベント学会の2010年研究大会において、本学観光デザイン学科教員の桑田政美教授と本学生が研究発表を行いました。イベント学会とは、イベント研究の推進等を目指して1998年に設立された学会(堺屋太一会長)で、桑田教授は本大会の実行副委員長を務め、計画段階から携わりました。4日(土)に国立民族学博物館で行われた口頭発表で、本学観光デザイン学科4年生の伊藤陽祐さんと中川美穂さんが「商店街におけるイベント実践報告『歩いciaoi着物で千早』～大学生が案内する路地裏散策～」を発表、桑田教授が「ジャパンエキスポが地域の観光振興に果たした役割～世界リゾート博、南紀熊野体験博を事例として～」を発表しました。

また、本大会のポスターデザインには観光デザイン学科2年生の坂井結衣さんの作品が採用され、坂井さんは大会に招待されました。(広報室)



Arts Bar @ Rissei 京都学生芸術作品展2010

好きな作品をお好きなだけ…  
「Arts Bar @ Rissei」で本学生が受賞

11月19日(金)～28日(日)にかけて開催された、芸術文化を学ぶ11大学の学生による合同作品展「Arts Bar @ Rissei 京都学生芸術作品展2010」に本学が参加し、本学造形学科の日本画分野4年生、山本あずみさんの作品「翔」が「フラットエージェンシー賞」を受賞しました。

本展は、2000年から昨年まで毎年開催された芸術系大学の合同作品展「ART UNIV.」が参加校を増やして名称も改め、新たにスタートを切った作品展で、「Arts Bar」というタイトルにはサラダバーやドリンクバーのように好きな作品を好きなだけ自由に味わってほしいという願いが込められています。会期中は絵画や彫刻、工芸、デザイン、いけばな等の幅広い分野の作品が展示され、芸術表現の多様性や学生の創作活動の将来性を感じられる内容となりました。またワークショップや講演会等のイベントも行われ、訪れた人たちは会場に展示された若き溢れる作品の数々を堪能していました。(広報室)

## 附属機関

## 博物館・ギャラリー企画報告

【附属博物館】

「絵は詩のごとく、詩は絵のごとく マリアヌ・クルーズの世界」(10/10～11/6)を開催しました。日ごろ見る機会が少ない画家マリアヌ・クルーズの作品でしたが、オープニング・セレモニーを皮切りに25日の間、美しいバステル画や挿画本、オブジェの世界が来館者の目を惹きました。鮮やかな色彩や踊るような描線の中に、時代の潮流に左右されず、妥協することなく、生涯にわたり表現し続けた作家の内面の強さも感じていただけたのではないのでしょうか。

【附属ギャラリー】

「京都嵯峨芸術大学短期大学部専攻科日本画展」(10/26～10/31)、「嵯峨地域小学校・中学校・高校・大学連携交流展覧会」(11/24～11/29)を開催し、前期の実習成果発表や地域連携による作品発表が行われました。「嵐芸祭」期間中には嵐芸祭実行委員会主催による、「嵐芸展」(11/3・4)が開催されました。会場には公募による21組の学生の作品が展示され、学園祭に会場した方々にも多数で来館いただきました。来館者の投票による「嵐芸展賞」「同窓会賞」も選出され、後日ギャラリーにて表彰式が行われました。(博物館・ギャラリー課)

## 附属博物館「絵は詩のごとく、詩は絵のごとく マリアヌ・クルーズの世界」オープニング・セレモニー

本学附属博物館で開催された「絵は詩のごとく、詩は絵のごとく マリアヌ・クルーズの世界」(開催期間:10月10日～11月6日)のオープニング・セレモニーが、10月10日(日)9時30分から附属博物館にて行われました。セレモニーでは三好郁朗学長からの挨拶があったのち、会場内に展示された作品をじっくり鑑賞しながら参加者の皆様の熱意となりました。(広報室)



『ねこばんち』新人王ねこ漫グランプリ

本学生の作品が  
漫画グランプリで入賞

本学短期大学部、デザイン分野マンガ2回生の西岡玲奈さんの作品『紳士猫喫茶』が、漫画雑誌「ねこばんち(少年画報社)」の「新人王ねこ漫グランプリ」で入賞しました。本誌は猫を題材にした描き下ろし漫画を掲載した月刊発行のコミックスで、西岡さんの作品は「ねこばんち12月号」に掲載されました。尚、同誌には西岡さんの次回作も掲載予定で、現在鋭意制作中です。(広報室)



## 地域連携

## 国民文化祭ワークショップ

2011年度の秋に開催される「第26回国民文化祭・京都2011」のPRイベントが10月23日(土)・24日(日)おけフェスタ2010にて開催され、24日(日)のワークショップを京都府の依頼により本学が企画担当しました。内容は国民文化祭のキャラクターが「まゆまろ」であることから「本物のまゆで「おきあがりこぼし」を作ろう!」と題し、参加者のみなさんに大きさ約4cmの繭を素材とした「おきあがりこぼし」に絵を



## 「京都・嵐山花灯路2010」開催報告

「京都・嵐山花灯路2010」が12月10日(金)から19日(日)まで開催されました。本学からは毎年「嵐山プロジェクト」として参加している観光デザイン学科の学生が、おもてなし遊び心を兼ね備えたユニークな作品を会場エリア内各所で発表、来場者の目を惹きつけていました。また、本学が地域連携として取り組んでいる嵯峨・嵐山には欠かせない大小各種のオリジナル行灯が中の島公園と小倉池を幻想的に照らしました。(文化事業課)

## 大学行事予定 Jan.2011 — Apr.2011

|                  |                            |                  |                             |
|------------------|----------------------------|------------------|-----------------------------|
| ■1月7日(金)         | 授業開始                       | ■2月24日(木)        | 大学院入試(後期)                   |
| ■1月27日(木)        | 後期授業終了                     |                  | 芸術学部一般入試(後期)                |
| ■1月28日(金)        | 短期大学部一般入試(前期)              | ■3月18日(金)        | 3年次編入入学試験(後期)               |
|                  | 外国人留学生特別入学試験(短期大学部)        |                  | 芸術学部プレゼンテーション入試             |
|                  | 外国人留学生専攻科入学試験              |                  | 短期大学部自己推薦入試(後期)             |
|                  | 外国人留学生特別入学試験(芸術学部)         |                  | 芸術学部・短期大学部特別入試(帰国生・社会人)(後期) |
|                  | 外国人留学生3年次編入入学試験            | ■3月19日(土)        | 卒業・修了式(於:大学講堂)              |
|                  | 芸術学部一般入試(前期)               |                  | 教育後援会主催祝賀パーティー              |
| ■1月29日(土)～30日(日) | 卒業・進級制作展(於:京都市美術館・大学キャンパス) | ■3月25日(金)        | 在学生オリエンテーション                |
| ■2月2日(火)～6日(日)   | 短期集中授業期間                   | ■3月25日(金)～29日(火) | 履修登録                        |
| ■2月8日(火)～18日(金)  | 短期大学部一般入試(後期)              | ■4月2日(土)         | 入学式                         |
| ■2月23日(水)        | 専攻科入試(後期)                  | ■4月2日(土)～8日(金)   | 新生オリエンテーション、履修登録            |
|                  |                            | ■4月11日(月)        | 授業開始                        |



中本さんの作品(photo by YOKO Taguchi)と「&amp;ART」ウェブサイト画面



www.andart.jp/